教育目標　：　「知性を磨き 心を見つめ チャレンジする生徒」
『 挨拶を交わし 場を清め 時を守る』　　校長　下地 秀隆

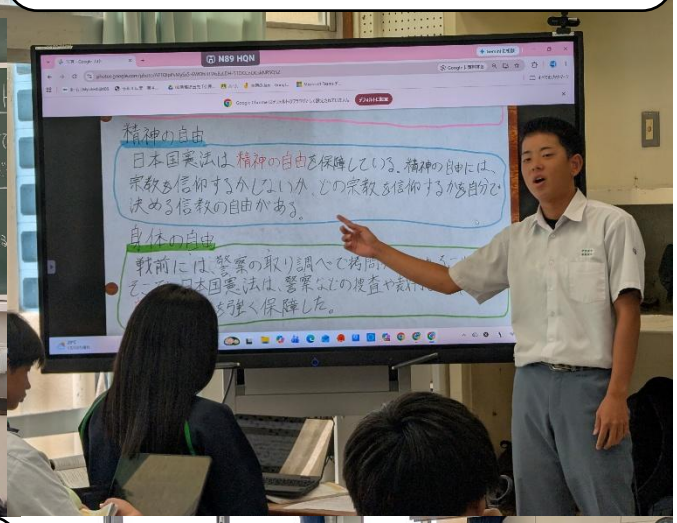
令和８年度「教職員一人一授業公開(研究授業)」
【井上先生(社会)・下地先生(理科)】

◆今月先生たちによる「研究授業」がありました。今年度は一人一授業を公開することで、先生方の指導力の向上や授業改善に取り組んでいます◆今回は、井上智晴先生(３年社会)と下地楓先生(２年理科)２名の研究授業の様子を写真にて紹介します◆



◆井上智晴先生コメント◆今回の授業では、生徒が、各自のペースや方法で学びを深める「自由進度学習」を取り入れました◆新学習指導要領では、教師を起点として共通テーマを設定する「テーマ探究」と、個人を起点として課題を設定する「マイ探究」をバランスよく組み合わせる等指導方法の工夫を求めている◆今回はマイ探求系で、個人でまとめた考えを喜納優太さんが発表してくれた。1組全体で主体的に学ぶ意識が芽生えてきた授業内容でした◆社会科では、今後もマイ探求系で学ぶ意欲を高め、主体的に学ぶ学習集団つくりができるよう、頑張りたいと思います◆





◆下地楓先生コメント◆本単元では、「化学変化の前後で、物質全体の質量はどうなるだろう」が、学習課題であった◆仮説を立て、実験を通して「A沈殿ができる反応」「B気体が発生する反応」に挑戦した◆実験では、薬品や実験に使う器具を安全に操作できるか？実験の結果を正確に測定・記録できるか？等がポイントである◆Aでは「沈殿が起こると固体がでてくるから、重くなるだろう」。Bでは「ふたをあけると、気体が逃げるから、質量は小さくなるだろう」と仮説を立てることができた◆生徒たちが、主体的に学ぶ意欲を高められるよう、実験を通した技能の向上に取り組む◆

